

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	呉市立本通小学校
-----	----------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- 毎日朝食をとる児童の割合（93.6%）
- 食物の栄養，食事のマナー等の食に関する知識の定着に差がある。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- 早起きの目標時刻を守ることでできる児童の割合（80%）
- 毎日朝食をとる児童の割合（95%）

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ） 家庭及び地域と連携した食育

- 給食学習会の実施
 - ・保護者対象に献立作成から給食の提供までの流れを紹介した。給食室での調理の様子については、動画を用いて説明することで、大量調理の大変さについて理解を仰いだ。給食の配膳や喫食，子供たちが給食を食べている様子の参観を通して，給食について「見て食べて楽しく」学ぶ機会となった。
- 食育通信による情報発信
 - ・毎月 19 日に食育通信を発行した。給食を通じた食育の様子について写真を用いて紹介することで，家庭での食育のヒントとなるようにした。



【取組 2】（テーマ） 基本的な生活習慣の定着

- 「元気っ子週間」の取組
 - ・「元気っ子カード」を用い，早寝・早起き・朝ごはんの状況を調査することで，生活習慣を見直す強化週間（元気っ子週間）とした。今年度より，朝ごはんの内容において，赤・緑・黄の 3 色が揃っているかについても全学年で調査した。
 - ・委員会活動では，保健給食委員会の児童が朝会や給食時間中を活用して，3色の揃った朝ごはんの大切さについての劇をしたり，VTR 上映を行ったりした。また，学級で目標を達成している児童が何人いるかを調べるチェックシート付きのポスターを作成し，毎日担任に人数を確認してもらうとともに，委員会の児童が期間中に教室を訪れて呼びかけることを通して，意欲の向上を図った。



- 各学年における食に関する指導の実施

- ・ 第3学年 学級活動「元気の出る朝ごはんを考えよう」

朝ごはんの3つのスイッチの働きや3色の揃った朝ごはんの大切さについて捉えさせ、実際にどんな朝ごはんを食べれば良いかを考えさせた。「元気っ子週間」の前の週に実施することで、実践につなげた。



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- 親子料理教室の実施

- ・ 夏季休業中にひろしま給食メニューの「ひろしまオールスター★担々丼」を取り入れた親子料理教室を行った。調理法を工夫することで、家庭でも児童が朝食等に活用できるようにした。



5 取組に対する成果と課題

【成果】

- 給食の時間の指導等、日々の継続した取組により、児童の食に対する興味の高揚が見られた。
- 学級活動や元気っ子週間の取組の工夫で、児童及び保護者が3色揃った朝食を意識するようになった。
- 朝食喫食率については、昨年度と比較して数値が上がった。

	目標値	平成30年度	平成29年度
毎日朝食をとる	95%	95.4% (1.8ポイント増)	93.6%

【課題】

- 朝食喫食率が100%に達していない。
- 基本的な生活習慣の定着していない児童が固定化している傾向にある。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- 基本的な生活習慣の定着については、家庭との連携が不可欠であるため、児童の家庭環境等を把握している担任や養護教諭等との連携を図り、個別指導を充実させていく。
- 日々の継続した取組による小さな変化を見取るために、その都度評価を行う。児童の変化を見取る視点や食育に関する共通理解を図るための研修を行ったり、日々の職員間におけるコミュニケーションを大切にしたりすることで、学校全体で食育を推進していく体制を整える。